

2023.4/7(金)

23 目標 4 月状況別セミナー②

5 月短答受験生向け

5 月短答直前期の スケジュールとポイント

【本日の内容】

セミナーの開催目的 自習時・サポート利用時の時間対効果

I ゴールから逆算する

- 1 合格までに必要な力 3 つ (p. 3)
- 2 短答直前期のポイント・手続関連 (p. 4・5)
- 3 5 月短答直前期 スケジュール例とポイント (p. 6)

II サポート制度の活用

- 1 主な 6 つのサポート (全体向け⇔個別具体的) (p. 7)
- 2 その他 (テキストチェックゼミ、オープンチャット等) (p. 8)
- 3 短答直前期よく伺う失敗談 (p. 9)

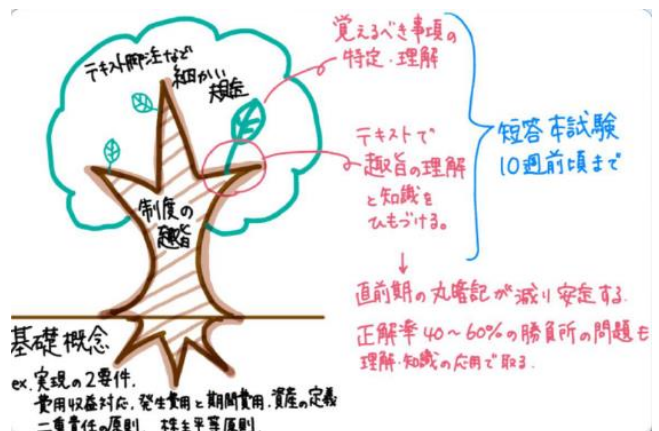
III 具体的な学習のポイント

- 1 ふせんの活用 (p. 10)
- 2 直前期 各科目のポイント (p. 11-13)
- 3 テキストへの一元化例 (p. 14・15)

その他 事前質問への回答 (p. 16-18)

巻末参考資料・・・相談窓口・就職サポート
8 月までのスケジュール

★短答式試験持ち物リストと
当日のポイント
・・・Web School「教材」欄
「持ち物」で検索



はじめに 状況別セミナーの開催目的

【2つの面で、時間対効果を高める】

自習の時間対効果

☑定期的に、時期ごとの目標・よくご相談いただく内容を共有



短期的・中期的ゴールが明確になる



学習方針などで迷いや不安がなく、学習に集中できる。

質問・相談などサポート利用時の時間対効果

☑学習ペースがずれたり成績が伸び悩んだ時にも・・・



定期的にセミナーで、
状況別の優先順位/スケジュールの組み方共有



自力でもある程度立て直せるようになる。
質問・相談時、時間内でより具体的な話が可能になる。

今後の状況別セミナー実施予定

2023 年 5 月短答後・7 月模試後・論文後

I ゴールから逆算する

1 合格までに必要な3つの力

正答率の高い問題を絶対に取りる！

必要な力	目安となる状態	使う教材・サポート
テキストを理解 (※理解だけでは不十分)	☒ テキストを読めば内容がわかる ☒ 比較が出来る (共通点・相違点) ☒ 具体例を挙げられる ☒ テキストを見ながらであれば、正解できる	講義・質問、 その他各種アウトプット教材⇔テキスト ★演習を通じてインプットの穴を探す。
理解に加えて、 本試験当日(◆)、 テキストの内容を 使える、 想起できる	☒ 自力で初見の問題が正解できる ☒ 目次を見たり問題を解いた後、テキストの周辺論点の場合分けで思い出せる	問題集、答練、テキスト目次、財理章扉 word 質問コーナーで理解度チェック (口述式問題演習)
上記に加えて、 大きなやらかしを せず、 <u>得点に繋げ切る</u>	☒ やらかしミスの対策・工夫をしている ☒ 時間配分で崩れない(※) ☒ 正誤の判断力 (&論文理論科目の場合・・・問を読み取って、素直に過不足なく答えられる)	答練・問題集・全国模試 やらかしミス分析・対策をメモ (論文理論科目の場合、zoom 質問ルームや質問コーナーで答案のフィードバックを受けるなど)

◆ピーク合わせの例 ★一度覚えたものも、
2週間を超えると抜ける。

全体確認 …試験前 10-14 日以内

細かい暗記…ふせんページ 3 日以内

財理・監査論テキスト…本試験前 1 ヶ月前までは 10 日-2 週間、
最後の 2 週間は 7 日以内など

【回転の下準備】 ★問題演習・テキスト復習で細かい暗記が必要な対象を特定し、メリハリを付けて取り組む。

※管理会計 試験中の難易度の読み取りや、時間の見積り等ができない場合

→2022 年 10 月配信済 安達講師 短答管理理解き方セミナーを受講。

Web School「講座からのお知らせ」欄 アーカイブページ参照

2 短答直前期のポイント

①インプット・アウトプット双方を強化。

【インプット面】知識を体系的に「覚えている」「使える」

テキストの理解を土台として、暗記を詰めて行く。
暗記箇所や苦手な箇所はふせんを貼るなどメリハリ。

問題集や 12 月向け答練・アクセスの復習を通じて、
テキストの理解不足・暗記不足を無くしていく。

- ★まずは重要かつ苦手な論点から。
- ★本試験直前 2・3 週間は、得意なものも点検。

【アウトプット面】時間配分/やらかし対策/正誤判断力

残りの答練・全国模試を通じて、
時間配分や試験中の行動などを修正。

正解した問題・記述についても、
あやふやな点がないか、周辺まで丁寧に復習する。

② 毎日全科目取り組む。得意科目を放置しない。

- 特に本試験直前 2 週間は財計・管理計算について
- ☑アウトプット練習(正確性・やらかし対策/スピード維持)
 - ☑テキストで論点 1 周確認。

③体調・メンタル管理。睡眠を大事に。

【アウトプット時のポイント】

- 演習後、テキストの周辺知識・別のパターンまで想起できるか？
→想起に大きな漏れがないか、テキスト周辺論点確認。
- 管理・監査論は、1 問 1 答形式だけでなく、
4 肢形式での微妙な判断練習も意識。

手続関連

◆短答フォロー講義（特に監査論は改正論点）と、
企業法改正論点講義を受講。

◆通学生は以下の手続が必要。

☐ 短答再チャレンジサポート書替手続（上級ストレート本科生は不要）

☐ 短答全国模試受験手続

☐ 論文全国模試①受験手続

※受験せずでよいが、5月短答以降に使うため、問題を受け取っておく

◆もしも 12 月向け短答答練で未受験があれば、受験・提出。
（全国模試以外は、締切を過ぎても採点・成績反映される。）

◆12 月短答本試験のデータリサーチ・正解率診断データ

…Web School「成績表」に格納されている。

仮に正答率 60%～全て、40～60%を 6 割取ると、78%ほどになる。

答練については、**正答率 40%以上は全て取る**意識で復習。

理論科目の答練で出題された記述は、テキスト周辺論点も含め復習。

既存の知識で取れなかったか？も考えつつ本試験までにおさえる。

※答練日程は日吉校を参考に記載

		ポイント
4月	4/16(日) 5月向け短答直前答練2	★短答直前・回転期突入。 3月末までに固めたテキストの理解を土台として、 短答問題集等を復習しつつ、テキスト上の細かい知識の暗記開始。 ★<u>理論科目の論証暗記はストップ。</u> <u>短答向けのテキスト回転時に、軽く目に入れる程度など。</u> ★<u>租税経営はストップ。</u> <u>特に、5月は短答科目の知識暗記に完全集中。</u> 直前答練2…自分なりに仕上げた状態で受ける。 難易度Aや正答率の高い問題の得点状況の分析。 やらかしミス減らす工夫。
5月	5/4・5頃 短答全国模試	全国模試…本試験でも構わない状態を目指す。 ※100%のピークは本試験に合わせる。 ★模試前に完璧に覚えたものも、 放置すると3週間で抜けてしまう。 知識・記憶が新鮮な状態になるように、再度点検しておく。 直前答練3…やらかし対策を仕上げる。 ※照準・ピークは本試験に合わせる。 【最後の2週間】★バランス重視！！テコ入れはもうしない。 計算1周・理論科目は2週間で2周＋付箋の箇所はもう1周など。 暗記&計算メンテナンス・やらかし対策。
	5/28(日) 短答式本試験	【計算科目 やらかし対策の例】 程良く解き方を忘れた問題を、夜に数問10-20分解くなど。

Ⅱ サポート制度の活用

◆…必ず利用

1 主な6つのサポート

全体向け

① 公式 LINE◆ Web School「講座からのお知らせ」欄

② 状況別オンラインセミナー◆

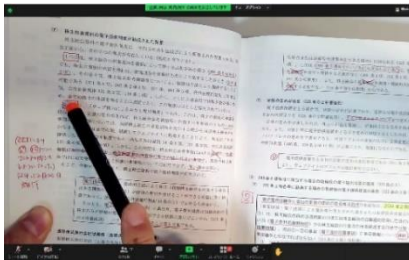
3ヶ月に1度&本試験直後に実施 30-40分ほど
時期ごとの注意点、短期/中期目標の設定方法

以下、双方向

③ Zoom 質問ルーム・【1対複数 人数制限なし】 挙手又はチャットで質問。

4/15(土)9-18時(7-9時 早朝自習室試行実施)

4/23(日)9-21時(7-9時 早朝自習室試行実施)



←2/23 宮内講師の
質問ルームの様子

※ビデオオフ・ニックネーム
での参加や、名前を【見学】
として視聴のみの参加もOK。

より具体的な相談ができるように…

★質問・相談前に、直近で実施した状況別セミナーの資料確認(できれば動画冒頭30分程も視聴)

★相談時、自己分析結果/現在の自分の課題や今後の方針、解いた際の下書き・答案等を持参

さらに個別・具体的な1対1の相談

④ Zoom・対面質問コーナー 1対1(毎日実施 10分程前から先着順)

日程表(@C. P. A.) https://www.tac-school.co.jp/kouza_kaikei/kaikei_gd_situmon.html

- 使用目的例
- ① 内容質問や論文答練答案のフィードバック
(自分の答案を画面共有し、コメントをもらうなど)
 - ② 各科目の学習相談(最低限/理想目標や短期・中期目標設定)
 - ③ 理解度チェック 章を指定して口述式で問題を出してもらう

⑤ 対面相談会(事前予約不要) 1対1

4月後半以降関東各校舎で実施。日程は@C. P. A 相談日程/LINE で公表。

⑥ 【ネット予約制】個別学習成績相談(1-3ヶ月に1度利用など)

毎週土曜日13時に翌週分予約開始 25分~久野講師は45分ずつ

@C. P. A. 成績相談日程表内 リンクから予約。

2 その他のサポート制度

(詳細は、全て Web School「講座からのお知らせ」欄)

◎テキストチェックゼミ

範囲指定有り

講師が口頭で問題を出す

当てられた受講生(希望者)が

口頭で答える

以下の科目につき、
全てアーカイブ済み

財務会計論 計算、管理会計論、監査論

【受講生参加型オンラインイベント】
テキストチェックゼミ(管理12/22~3月頃 木曜夜実施、監査論1月~3月頃 日曜夜実施)

TAC 公認会計士講座
管理会計論 全通講師
twitter@nao_tac
(郵便収録/日学校直送)

「問題」をおさえるのではなく、
論点・処理のバターン分け等が
体系的に整理できているか?
テキストの内容が、適切に想起できるか?
テキスト内容をゼミ形式でチェックする。
主に、管理会計が苦手な論文リスタート主向け。

2023年全通目標
各種本科生対象

全通(1~2)期で実施
1/2(水)質疑
1/19(木)集約
1/26(木)標準
2/2(水)速達・算術計算総論
2/9(木)原簿計算 総復習

【アーカイブ配信済 財務計算テキストチェックゼミ】
TAC 公認会計士講座
財務計算 藤野講師
twitter@shin_fujino
(成績相談/日学校直送)

23目標Webschool「講座からのお知らせ」に、
23目標財務のアーカイブ有り。
処理のバターン分け想起・整理に有用と感じたら、
アーカイブのレジュメや動画、音声データを活用。
【注】別途、実際に問題演習の時間を確保。

監査論1月以降日曜夜
TAC 公認会計士講座
監査論 岡田講師
twitter@okada_k_tac
(論文対策講座 見守り収録直送)

2023年全通目標
各種本科生対象
12/22(水)19時開始

★自問自答をしながらテキストを読むきっかけとして、
上記アーカイブ資料を活用してもよい。(主に論文向け)

◎学習法・財理・監査論質問用 LINE オープンチャット

【開発中】

受講生向け仮想空間

大阪/台湾初のスタートアップ企業とオンライン自習室を開発中。

試行実施イベントとして、

4/19(水)19-21時 仮想空間で交流会を実施。



3 短答直前期よく伺う失敗談 参照：合格者からのメッセージ集

input

- 無理な計画を立て、睡眠時間を削り体調を崩した。
- 重要度の強弱を付ける意識が足りなかった。
- 自己判断で、重要な論点を切ってしまうていた。
- テキストに戻らず、問題集の解答・解説の確認で終わっていた。
- 答練の実施がずれて投げやりな気持ちになり、放置した。

Output

- 完璧主義**に陥ってしまった。
- テキストの復習のみで、演習が足りなかった。
- スラスラ解ける問題をずっと解き続けていた。

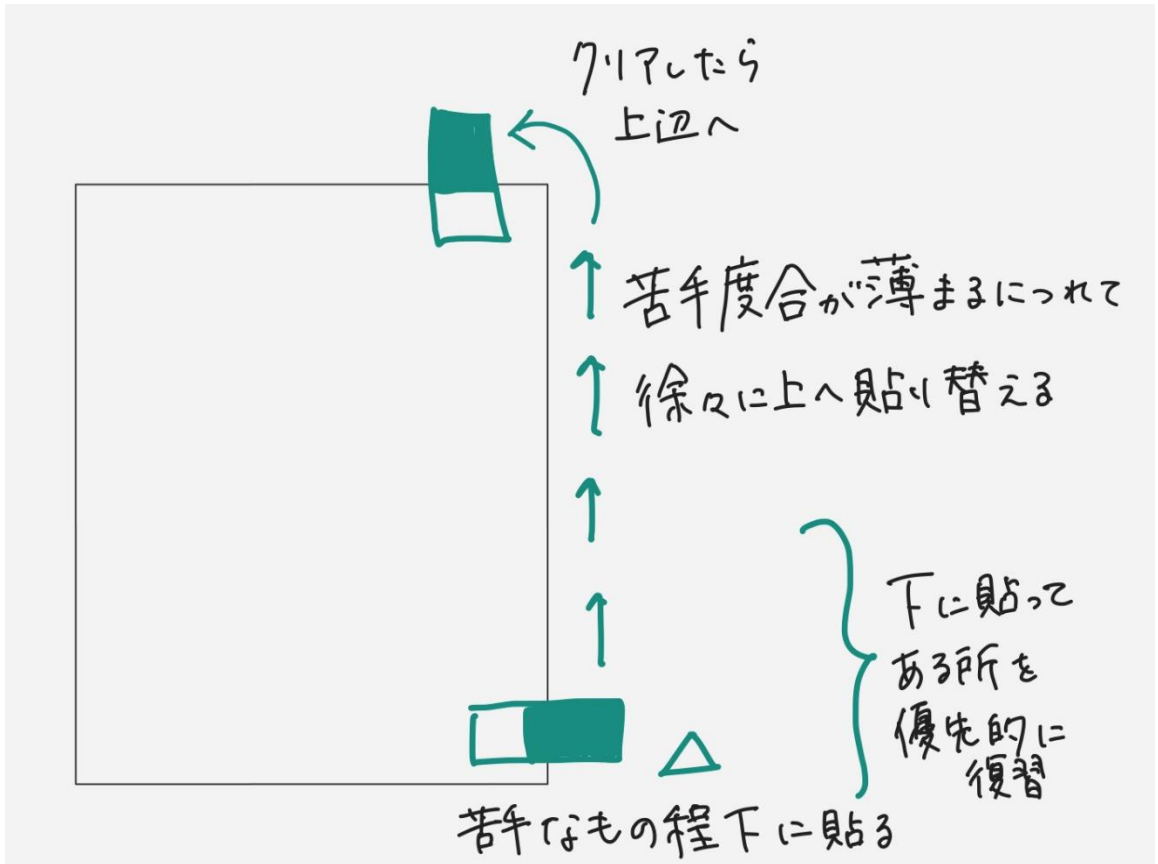
★自己分析の結果や学習の方向性・優先順位が
大きく誤っていないか、定期的に確認・軌道修正。



日々の自習時の自己分析・改善が、適切に行えるようになる。
特に、受験勉強の経験値が少ない場合は相談等サポートを活用。

Ⅲ 具体的な学習のポイント

ふせんの活用



直前期 各科目のポイント

直前期 各科目のポイント

企業法

output



短答問題集・短答アクセス・短答答練の復習。

周辺知識を想起・点検。会社類型ごとに説明できるか？

よく間違える重要論点は、条文又はテキストを確認。

input



- テキスト論点ごとのまとめ表を点検。
- 覚えやすいように、できるだけ趣旨でおさえる。イメージをしつつ。
- 複数論点を比較する。

機関設計自由の原則の例外	条 文	趣 旨
公開会社は、取締役会を設けなければならない。	327条1項1号	公開会社では、株主が多数かつ流動し、株主による会社経営がおよぼされる状態に期待でき、株主に代わる会社経営の担い手が存在するからである。
監査役会設置会社は、取締役会を設けなければならない。	327条1項2号	取締役会を設けない場合には、取締役の選任・解任の権限が株主にあり、株主の意思が直接に反映される。また、監査役会設置会社は取締役会の設置が求められている。
監査等委員会の設置会社は、取締役会を設けなければならない。	327条1項3号	監査等委員会の設置会社は、取締役会の設置を廃止する目的で設置された株式会社と異なり、取締役会の設置が求められている。
監査役会設置会社は、取締役会を設けなければならない。	327条1項4号	監査役会設置会社では、三委員会は取締役会の内部機関であり、その構成と権限行使は取締役会と密接な関係からである（409条、441条、406条参照）。
取締役会設置会社は、監査等委員会の設置を必要とする事項は必要である。また、取締役会による監督（362条2項2号）には自ら監督の権限がありうるからである。	327条2項本文	ただし、取締役会設置会社といえども、監査等委員会では、株主が少数かつ流動しないから、株主による意思決定に対する監督に十分な程度は期待できる。そこで、非公開会社は、取締役会を設けなければならない。

2022年9/26(月)23目標12月短答直前期HR 17

直前期 各科目のポイント

管理会計論 (計算/理論)

★テキスト想起・暗記→該当単元の問題演習。

2週間以内に論点1周を意識。理論の暗記詰め。

input



- テキスト目次を見て、処理の場合分けを想起。 ex. 作業層の処理…2パターン
- 細かい計算処理・理論の暗記事項を意識して、テキスト本文確認。
- 原価計算基準原文を、出やすい箇所を意識して確認。 **脚注も。**

★具体的なイメージをしながら。
表現が異なっても、
判断ができるように。

ex. テキスト前半・後半共に13~18頁分ずつ→10日~14日で1周

★テキストを確認して処理があやふやな論点は、
部分的にトレーニングで点検（解く、又は解法プロセスを説明）。

output



その日もしくは前日テキストを確認した単元について、
理論・計算ともに、サンプルテストとして、少し問題を解く。

テキストの周辺知識を即座に思い出せるか。

理論の答練…文章から誤りの箇所を探す力、4肢の比較で正誤判断する力を向上/維持。

計算の答練…難易度の見極め、作業量を見積る力、正確性を向上/維持。

数字が合わない時に粘り過ぎない。

直前期 各科目のポイント

監査論

★テキスト想起・暗記→該当単元の問題演習。

6章制度論など、細かい箇所の暗記を本試験までに詰める。

input



テキスト目次や章・節扉を見て、要求事項等の場合分けを数単元想起。

- 本文の要求事項や重要な脚注周辺について、重要な箇所から徐々に。
- テキスト内監査基準原文を、出やすい箇所を意識して確認。

output



その日又は前日確認した単元について、少し問題を解く。

テキストの知識を当てはめる意識で数問。周辺を想起。

答練をサンプルテストとして使用し、文章から誤りの箇所を探す力、
4肢の比較で正誤判断する力を向上/維持。

★初見の記述を見た時に、どこかで見た問題ではなく、
テキスト関連ページがよぎる状態に。

2022年9/26(月)23目標12月短答直前期HR 19

▲一問一答形式だけでなく、4肢での微妙な判断の練習も意識。

直前期 各科目のポイント

財務理論

★短答問題集・アクセス等で、出やすい所を知る。

出方を知って、テキスト上で出題予想・強調。結論暗記。

★問題を解いたら、周辺想起・テキスト点検。

範囲が広いため、一日で複数ブロックを数十ページずつ、様々な方法で進める。

output



論証暗記は一旦置いて結論。

問題を解き、周辺の結論・短答重要論点を想起。
テキストに戻り、マークを付け、周辺の重要箇所を復習。
テキストで覚えにくいところを強調。

input

6 まず重要な箇所
中心

テキストのうち覚えにくい結論・容認規定要件等について、消せるペンや付箋で強調。1周目はページ3-7分
など。

大きな基礎知識の穴が無いか、テキスト章扉の「word」を確認し、不明点はすぐに本文確認... 9日(1周
など

短答に出やすい重要な箇所をおさえる。暗記し辛いページに付箋。
じっくり読みたくなったら付箋を貼り、一旦はスピード感を持って先に進む。

財務理論 短答で問われやすい論点の例

- ◎ 原則・容認等の関係 ex. “~とする” ↔ “~できる”
- ◎ 容認規定等が認められるための要件の個数・内容
ex. “~、かつ、~の場合には、~できる”
- ◎ P/L・B/S・CF計算書上の表示区分
ex. 販管費・営業外収益/費用、流動/固定、投資その他の資産
- 場合分け ex. “~の場合には、~とする”
- 計上するタイミング
- 計上金額(CFの見積方法、割引率、控除・加算する要素)
- 基準の適用範囲 ex. 棚卸資産に該当するか?
- 特別な注記の要否
ex. 解約不能のオペレーティングリースに係る未経過リース料の注記

直前期 各科目のポイント

財務計算

★問題を解いて→周辺を想起・テキスト点検。やらかし対策。

output

実際に解く。Last7日～10日間ほどは若干増やすのも◎。



●難易度の見極め・解答時間の見積り

答練の初見時に試す。答練復習時は、丸ごと1回分ではなく、1問あたりで実施。

●スピード向上・維持 ★解き慣れた問題でOK。

アクセスや答練からピックアップ。

●やらかしミス対策 ★解き方を程よく忘れた問題を使用。10分でもOK。

夕方・夜などあえて疲れている時間帯に、実際に電卓を叩き、1～数問正確性を意識して解く。久しぶりに解く答練の一部や過去問「易」。全て直近数週間で解いている場合、トレ短など。

input

網羅的に周辺知識を想起・点検。2週間以内1周が目安。



●アウトプット後、周辺を想起。

●テキスト等で処理の場合分け等をざっと確認。

特に最後の10日は、アウトプット練習の後、テキストを1日1冊パラ見など。

アクセス・答練の講師下書きレジュメも活用。

2022年9/26(月)23目標12月短答直前期HR 20

財務計算 メンテナンス具体例

output



実際に問題を解く。

ex. 「今日はテキスト1に取り組もう」

→アクセス1のうち、現金・有価証券など一部。もしくは、解けなかった問題。

《計算が苦手な場合》

しばらくは毎日、

アクセス1～6(個別論点)と7～12など(構造論点・上級重要論点)から一つずつピックアップして解くなど。

input



●解いた論点の周辺分野を想起。

●テキストで、アウトプット時に触れなかった論点を中心にざっと点検。

慣れたら20分ほどで1日1冊確認など。電卓は叩かない。

ex. テキスト1のうち、アクセスとは別の処理や論点

※3・4回解いて数字を覚えたアクセスは、しばらくは使用目的を想起・点検用に変える。

やらかし対策用は別の問題で行う。前ページ参照

原則⇨容認処理、問われる段階損益・B/S区分など、先入観を持たずに問題文に取り組むことを意識。

2022年9/26(月)23目標12月短答直前期HR 21

やらかし対策の例…夕方以降疲れたタイミングで、
あまり解き慣れていない問題を正確性を意識して解くなど。

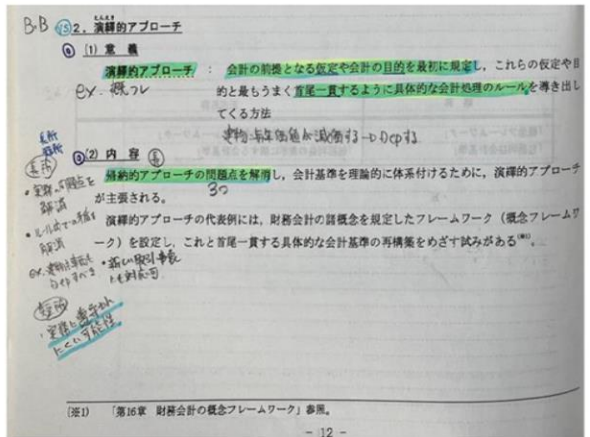
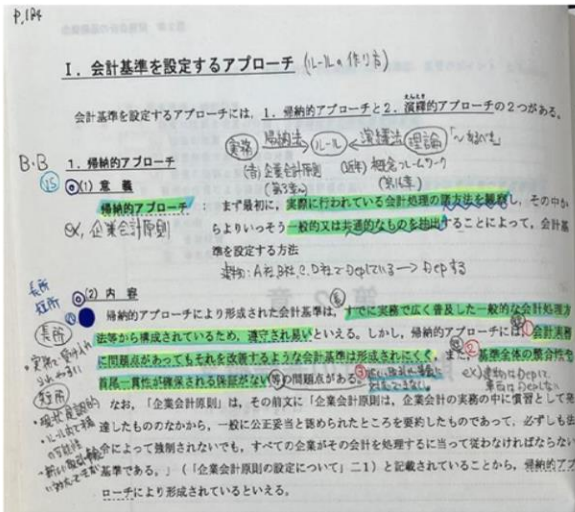
参考：合格者のテキスト写真

福田さん (zoom質問ルーム待機など)

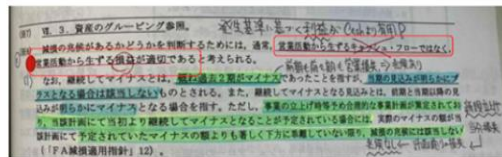
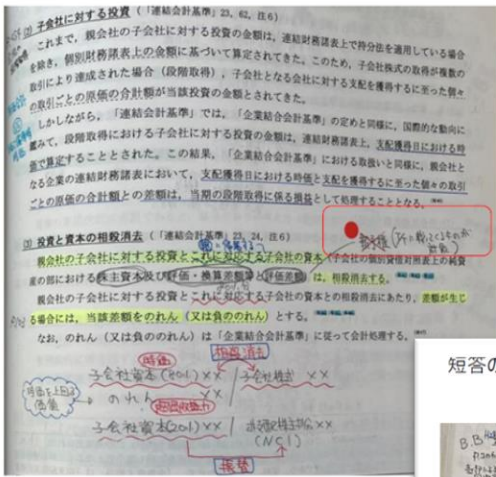
2017年 8 月論文合格 町田校

(2010年簿記1級取得 2015年 3 月 退職して学習開始 2016年12月短答合格)

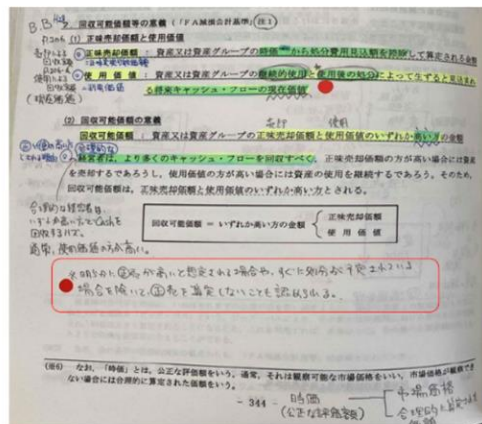
黄色は短答用、青色は論文用と決めて、ハイライトしていました。また、短答答練で出題された箇所には赤シール、論文答練で出題された箇所には青シールを貼って復習することで、効率的にインプットできていたと思います。



短答は細部まで暗記する必要があるので、答練の選択肢の記載を書き込んで×をつけたり、テキストの「ではなく」といった記載には×や○をつけて対比するなどし、視覚的に分かりやすいようにしていました。



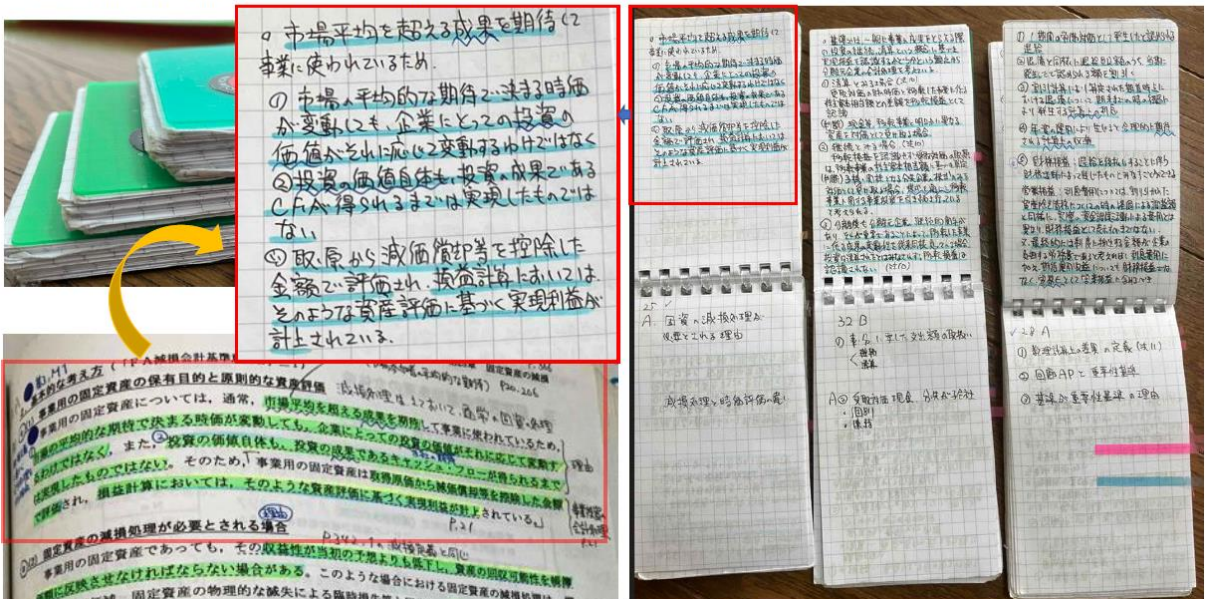
短答の選択肢で、テキスト上にない肢もありますので、テキストへ適宜書き込みをしていた。



福田さん 12月短答後 参考

【注意】あくまでも、テキストがメイン。
 テキストと離れると、問われていることがわからず
 論点ズレしたり、常識レベルの基礎知識が抜けるリスク有り。

論文では、3冊のメモ帳にテキストの論点を全て集約し、回転させることで暗記し、並行してテキストを速読していました。監査も1冊か2冊程度のメモ帳を作成し、同様に利用していました。
 メモ帳の作成に時間を要しますが、答練範囲に合わせて作成しつつ、答練準備を行いました。



その他 5 月短答受験生の方からのご質問

Q.既卒専念生

今年の 3 月に専門職大学院を卒業し、5 月短答の企業法のみを受験します。

現時点から短答本番に向けての企業法の取り組み方と、8 月論文を見据えてどのような配分(短答の勉強と論文の勉強)で勉強に取り組めばいいか、アドバイス頂きたいです。

⇒基本的には 4 月に入ったら短答に向けた勉強のみとなるが、状況によるため、zoom 質問コーナーなどで企業法の講師に要相談。

Q.退職専念生

12 月短答は 1 点足らず 5 月短答の合格を目指す者です。

短答直前期の理論科目の回転方法についての質問です。

12 月短答の結果から、今回の 5 月短答の回転期は論文論点の確認もしつつ、各教材の回転を進めております。

しかし、回転のスピードが上がらず、この方法に違和感や不安を感じています。(現状、短答論点に絞っていたときの倍近い時間が掛かっています)以上の点を踏まえて、この時期の理論科目の回転を進める上で意識すべき点をご教示頂けますでしょうか。

各科目(財務理論・企業法・監査論)ごと、昨今の試験の傾向に照らしてご回答頂けますと幸いです。

⇒全科目、4 月からは論証暗記はストップ。論文論点は軽く目に入れる程度など。受験生の多くが正解できることを確実に取り切れることを意識する。

Q. 12 月の短答が不合格になり、論文の勉強を一切行わず 5 月短答合格を目指しています。合格見込みだった場合に、何かしらの科目合格を狙おうと思っています。その場合どの科目が、狙い目でしょうか？

因みに、ボーダー未満の場合、例年の受験生はどういう行動をとっているのでしょうか？

⇒科目合格は偏差値 55-56 (TAC でいう B 判定など) が必要なのに対して、総合合格は D 判定ラインで足りる。租税や経営は論点を絞ったり初学者から 3 ヶ月で本試験の平均近くまで持っていけるため、総合合格を最初から諦めるのは勿体ない。科目合格を本人が強く希望する場合、一般的には企業法の科目合格を目指す場合が多いが、状況による。会計学の力を伸ばすために会計学の科目狙いという戦略もある (取れなかった場合でも翌年アドバンテージになるように)。

もしも 5 月短答がボーダー未満の場合、まずは財務計算と管理計算を 6 月中に基礎から固め直す。並行して、理論科目については、Web 論点別講義で理解補強や、7 月から短答対策講義を適宜活用し、アウトプットを通じインプットの穴をさらに探すなど。計算に苦手意識がなく、ほぼ全科目合格ラインだった場合には、6 月末の論文全国模試 2 を受けるケースあり。

Q. 5→8 合格を目指して勉強を進めています。

現状は、12 月、1 月から財務計算と財務理論の精読を進め始め(弱かったため)、2 月後半から企業法、監査論の精読も進めています。財務理論は 25 章まで、企業法は機関のみ、監査論は 2 章までしか終わっていません。4 月までに終わらせる予定で進めたのですが、理解を重視したため想像以上に時間がかかってしまいました。このまま進めると、次の 2 回目の短答直前答練に間に合うかどうかと言ったところで不安になったので質問させて頂きました。

精読をやや粗めにして、速度をあげて一通り読んでから回転を始めるか、今からでも回転を初め、適宜精読をするか迷っていますが、この状態からおすすめの勉強法などありましたら教えていただきたいです。

⇒5 月末までに重要な箇所を覚え切る。精読終了済論点は回転を開始しつつ、全く手薄で苦手なところは「必要があれば」精読。財理でいうと、制度上の結論を覚え、余裕があれば制度上の結論の理屈を軽く確認など。

Q.

企業法について、テキストベースでインプットしようと思っているのですが、短答のために何を意識して読むべきでしょうか。今まで問題集ベースにしてしまっていたため、テキストを読んで何を理解しにいくべきか、少しわからなくなっています。

⇒短答で問われやすい所について、趣旨を確認して忘れにくくする。場合分けを押さえる。読書にならないように、テキストの太枠確認⇒問題を解いて結論の丸暗記になってしまっていないかチェック⇒周辺知識・場合分けを思い出すなど。間違いやすい箇所の一元化は、六法でも OK（一覧性が高い）。

Q. 回転期、不安で次に進められず、手薄な論点を作ってしまいます。

安心して知識を定着させられるスタンスやルーティンの作り方(わからなかったところを見直すことに割く時間の計画を立てるのが苦手です)が有れば教えていただきたいです。

⇒たとえば、進めていてじっくり読みたい箇所や苦手な箇所が出てきたらひとまず付箋を貼っておく。

全科目その日必要なタスクを進めてから、夕方以降のボーナスタイムなどに時間を決めてじっくり確認するなど。100%完璧でなくても合格できるので、他の人よりも極端に手薄な論点がないようにする。

Q.

よく回転準備を進めると言ったことをセミナー等で耳にしますが、具体的にどのようなことなのかがわからず自分の中での問題解決が出来ないままとなってしまう。なんとなくミスした問題の一元化は思い浮かぶのですが、他にはどんなことがありますでしょうか。

⇒直前期に頻度を上げて確認するなど覚え切れるように、短答で重要かつ苦手なところ、覚えにくいところに付箋やマークなどでメリハリを付ける。

★最後の3週間、どこを繰り返し見たいか？

直前の3日間は？などを意識。

相談窓口等 質問コーナー・個別相談・就職サポート

入門・BM期のポイント 相談環境を整える

講師への相談方法

● 質問・相談コーナー [校舎/zoom]

質問コーナー日程表 ▶
(受講生HP「@C.P.A」)



質問コーナー日程表

※日程表内「TA」…合格者チューター

★校舎の質問コーナーの方が、zoomよりも比較的空いています。
近くにお住まいの方は(通信生の方も含めて)、ぜひ校舎質問コーナーをご利用いただければ幸いです。

TAC公認会計士講座 (関東地区) 質問・相談コーナー 9月予定表 確定版

月	日	時間	講師	備考
9	1	14:00-16:00	相澤	
9	2	14:00-16:00	相澤	
9	3	14:00-16:00	相澤	
9	4	14:00-16:00	相澤	
9	5	14:00-16:00	相澤	
9	6	14:00-16:00	相澤	
9	7	14:00-16:00	相澤	
9	8	14:00-16:00	相澤	
9	9	14:00-16:00	相澤	
9	10	14:00-16:00	相澤	
9	11	14:00-16:00	相澤	
9	12	14:00-16:00	相澤	
9	13	14:00-16:00	相澤	
9	14	14:00-16:00	相澤	
9	15	14:00-16:00	相澤	
9	16	14:00-16:00	相澤	
9	17	14:00-16:00	相澤	
9	18	14:00-16:00	相澤	
9	19	14:00-16:00	相澤	
9	20	14:00-16:00	相澤	
9	21	14:00-16:00	相澤	
9	22	14:00-16:00	相澤	
9	23	14:00-16:00	相澤	
9	24	14:00-16:00	相澤	
9	25	14:00-16:00	相澤	
9	26	14:00-16:00	相澤	
9	27	14:00-16:00	相澤	
9	28	14:00-16:00	相澤	
9	29	14:00-16:00	相澤	
9	30	14:00-16:00	相澤	

【zoom質問コーナーへの参加方法】

web school トップページ下段

「zoomを利用した質問・相談コーナーについて」リンクから
待機室へ(ビデオオフでOK。スマホからも接続可能)



● 個別成績・学習方法相談(久野/塚本/平林/蓮尾/藤野) [校舎/zoom]

毎週土曜日13時~次週1週間分をネット予約受付 ▶

※通常の質問コーナー(予約不要)でも、
学習全般の質問を各講師が承ります。



Web予約システム



個別成績・学習相談日程
(受講生HP「@C.P.A」)

2022年10/24(月)24目標入門・BM期HR 12

[質問・相談コーナー | 公認会計士 | 資格の学校 TAC\[タック\] \(tac-school.co.jp\)](https://tac-school.co.jp)

入門・BM期のポイント 相談環境を整える

TAC会計士講座 就職サポート(相澤)

監査法人や会計事務所等への就活・転職以外にも、
下記について相談可能。

- 一般事業会社への就職・転職
- 仕事を辞めて受験専念にするか
- 卒業後働きながら受験を継続するかどうか
- 受験対策を中断して就職する場合の、エントリーシートの添削等

フリーダイヤル【予約不要】0120-527-699(平日14~17時)
メール counselor@tac-school.co.jp

★Web予約システムの他、
メールで希望日時(平日午後・平日夜・土日など)を
伝えていただいて、日程調整の上、
zoomを使ったオンラインでの相談も可能です。

TAC就職相談 Web予約システム



2022年10/24(月)24目標入門・BM期HR 13

公式 LINE による重要情報通知サービス

公式 LINE で、時期ごとのポイント・セミナー/相談会実施情報・答練出題範囲/講義日程公表等、見逃しがちな重要情報についてお知らせしています。

2 月以降、下記 3 つのアカウントで状況別に配信します。
受け取りたい情報に応じて、選択/友達追加のほど、よろしくお願いいたします。

▼23 目標 論文関連情報 (LINE ID : @23tac_ron)

<https://lin.ee/HNXTLMw>

※論文関連情報についてのみ通知



▼23 目標 58 向け (LINE ID : @23tac58)

<https://lin.ee/GZRizG1>

※4 月以降 5 月短答までは、
短答関連情報を通知



▼23 目標 5 月専念生向け (LINE ID : @23tac_5)

<https://lin.ee/StnmHys>

※5 月短答まで短答関連情報のみ
通知を受け取りたい方向け



【アカウント以降に伴い、2 月以降 メッセージ配信停止】

- ・短答初年度生向け (LINEID : @23tac)
- ・短答リスタート生向け (LINE ID : @23tac_tan)

TAC就職サポート2023

最新情報（随時更新）

https://www.tac-school.co.jp/kouza_kaikei/strength/employment_support.html

1. 就活に関する情報提供

- ◆ 主な法人採用ページリンク集【6/1 OPEN】
- ◆ 直前期過ごし方セミナー実施（就活オリエンテーション）
【6月上旬オンライン実施、6月中旬以降 WEB SCHOOL にて配信】

（5月短答が不合格だった方向けに、進路選択セミナー実施【6月中旬予定】）

◆就職ガイド

会計士受験生のための就職ガイド【論文全国模試②で配付】
会計士受験生のための就職ガイド[エリア版]【8月上旬発行予定】
※札幌など地区での就業や、Iターン/Uターン向け旅行ガイド付き
論文式試験後、DM 予定

【論文式本試験後】

- ◆会計士受験生のための就職説明会
8/21 から順次各地で開始。就活キックオフとして活用。

- ⑦ 就職サポート公式 LINE を活用した法人イベント告知
※6月直前期過ごし方セミナー時に案内

2. 就活スキル UP

- ◆就職対策講義【7/21 以降 WEBSCHOOL にて配信予定】
- ◆就活オンラインマナーセミナー（初めて就活する方向け）【8/21 夕方予定】
- ◆就活相談会（オンライン）【9月実施】
- ◆面接対策（オンライン+対面）【10月実施】参加者向けに ES 添削実施予定。

3. 個別相談

フリーコール 平日 14:00～17:00

オンライン相談 随時（counselor@tac-school.co.jp にご連絡で日程調整）

やらかしミス 原因と対策例

原因	対策例
①資料の読み飛ばし、 年度・決算日、税率、単位、 四捨五入、償還日・事業 供用日の指示をチェックもれ	マーカーや色ペンを使いながら読む。 (短答・論文共に、問題用紙・下書き用紙には使用可能) ✓マークを資料脇に付す(右端改行付近が読み飛ばしやすい)。 事前にこれまでのやらかしミスまとめ等を振り返る。
②下書きを省略しすぎた	講師の下書きを参考に過不足なく書く。 月割計算がある論点は特に注意。
③自分の下書きの読み間違い	数字ははっきり書く。自習時からB5などに下書きを大きく書く。
④電卓を使わず暗算してミス	極力暗算はしない。月割は指折り数えるなど。
⑤電卓の打ち間違い	打つスピードを緩める(処理を思い出すスピードを速くする)。 ブラインドタッチはしない。特に重要な箇所は、気持ちゆっくり 1・2度電卓を入れるなど。
⑥電卓や資料からの転記ミス	転記時に、ペンで指差し確認。電卓は体の近くで打つ。
⑦指示をチェックしたが、 解いているうちに忘れた	解答中の自分の目の動きを振り返り、目に入る場所を書く。 解答選択直前に、一旦問題用紙・下書き全体を俯瞰。

参考資料 23 目標 12 月短答後 HR から 12 月以降 8 月論文までのスケジュール目安

12 月短答以降スケジュール目安

2022 年 12/12(月)短答後セミナー 今後のスケジュールとポイント 8

12 月
1 月
2 月
3 月
4 月
5 月
6 月
7 月
8 月

Input 強化

テキストの内容・基礎的な概念を理解し、口頭で説明できる状態に。初年度生も、租税法以外の論文対策講義を適宜活用(ゼロ円登録)。

上級生は、インプット強化に Web 論点別講義を活用。(財理・監査論は全て受け直しても OK)

Output 強化

Output を通じて、Input の穴を探す。足りない力を分析。

問題文の読み取りと素直な答え方、部分点の取り方等を身に付ける。

各種アクセス/答練のほか、3 月末にかけて管理・監査論テキストチェックゼミや論文対策講義を活用。(気になる科目はガイダンスとして各 1 回目冒頭を受講)

正確性・スピード強化。

★4 月までのアクセス・答練は、出題範囲有。
5 月短答生も計算力アップ・理解強化のため適宜活用。

論文アクセス 論文答練

財務 計算
管理会計論
論文アクセス
前半 10 回

2 月頃
租税法
アクセス
(先取りアクセス
調整中)

基礎答練 3 回
(企業法は 4 回)
★問題文の読み取り、
問への素直な答え方
を身に付ける

応用答練 2 回
★応用的な問題での
部分点の取り方、
時間配分の練習等

全大問で凹みを均す。

4 月末 論文公開模試 第 1 回 (5 月短答生は短答後に活用)

理論補強答練 1・2 (5 月短答生は短答後に活用)

5/28(日)5 月短答式試験

論文直前講義 各 1 回

財計・管理・租税計算アクセス後半 論文直前答練 1・2

6 月末 論文公開模試 第 2 回

論文直前答練 3 (監査企業のみ 4 回目あり)

回転期 インプット詰め&アウトプット力維持/強化

会计学計算・・・2 週間以内に論点 1 周、
その他は 7 日～2 週間以内に論点 1 周、暗記は毎日など。

8/18- 論文式試験

★全科目、テキストを大事に。納得感を持てるか。
テキストを閉じて、想起・説明できるか。
財理は 2～6 章など受け直しても OK。
★4 月までのアクセス・答練は、範囲指定あり。
準備して受験し、インプット・アウトプット双方強化。

【5 月短答を受験する場合】 5 月短答・8 月論文ネット出願
2/6～2/27 まで

3 月末までは、理屈重視。
状況に応じて論文アクセスなど活用。
4 月に入ったら、論述対策や、租税法・選択科目はストップ。
短答知識暗記。
状況別のスケジュールについては 12/12(月)セミナーで詳述。

【5 月短答を受験する場合】
3 月末までは理屈重視
4 月頃～ 回転期 (短答向けの知識暗記)
3 月後半 5 月短答向け 短答直前答練 1
4 月頭 直前答練 2 (照準を合わせる)
5 月頭 短答全国模試
5 月 2 週目頃 直前答練 3

全科目、
満足水準まで持っていけるか?

【 M E M O 】

